

レーザ制御を利用したロータリ耕起により耕盤を均平化

【成果概要】

- (1) 耕盤均平技術は、ロータリ耕うん装置をレーザ制御により上下させ、耕起する高さを一定にして作業を実施することができます（図1）。
- (2) 耕起深は、発光器の上下及びレーザポールの伸縮により調整します。事前にはほ場内の田面高低差を把握し、田面が高い場所で一度耕起して深さを確認しながら目標の耕起深に設定します。

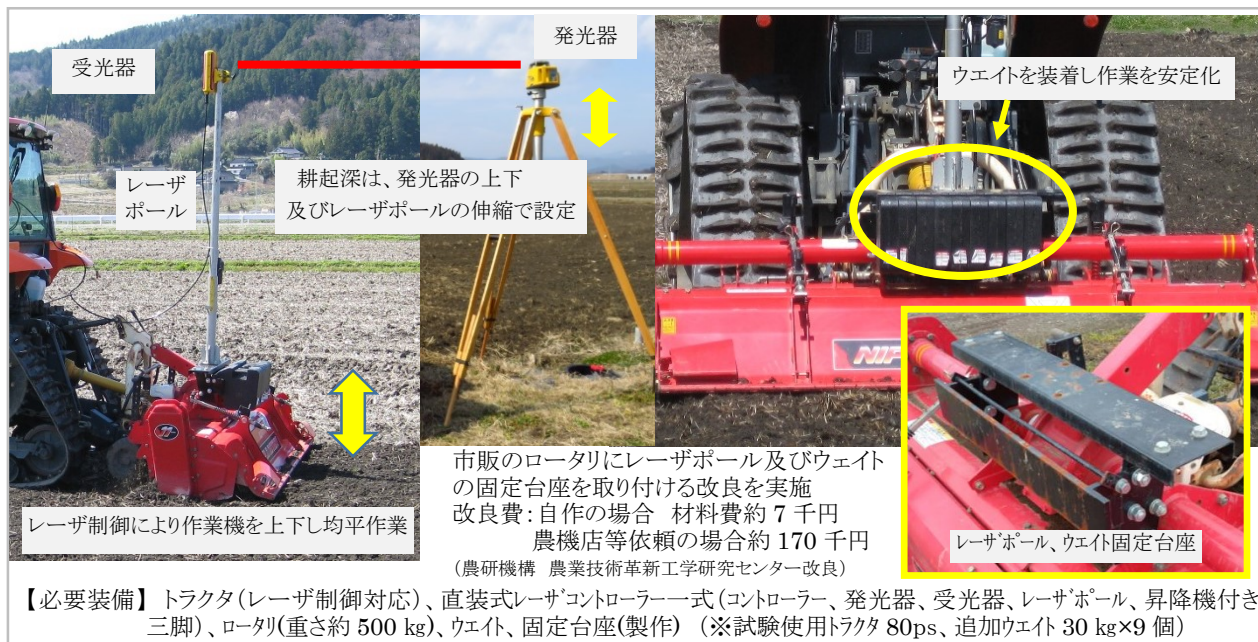


図1 耕盤均平技術の概要

【期待される効果】

- (1) 耕盤均平作業により耕盤の高低差±2.5 cm以内の割合を9割以上に均平化が可能です（図2）。
- (2) 耕盤を均平化することで、生育ムラを少なくし、移植機等の走行安定化が図られます。

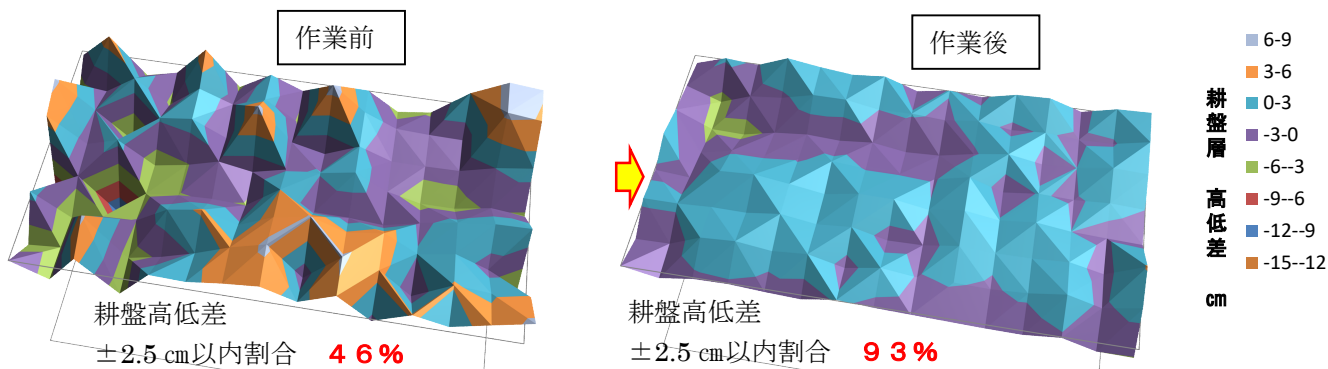


図2 耕盤均平作業による水田の耕盤高低差の変化

注) 陸前高田市小友地区ほ場(埴壤土)での実証結果。±2.5 cm以内割合は調査全地点に占める割合。

【留意事項】

- (1) 耕盤の均平化に併せて、田面の均平化を実施することをお勧めします。その際は、慣行耕起→田面均平→耕盤均平の順で作業を行います。
- (2) 装着するウェイト重量は、ほ場の硬さに応じて作業状況を確認して荷重を調整します。

【お問い合わせ先】 岩手県農業研究センター 生産基盤研究部 生産システム研究室

〒024-0003 北上市成田 20 地割 1 番

TEL. 0197-68-4413 FAX. 0197-71-1081